# 事業本部制による経営で将来価値の最大化を目指します

2021年4月よりスタートした事業本部制においては、3つの 成長シナリオの実現により、収益ポートフォリオを多様化して いきます。

また関連事業本部に所属するグループ会社については、シナ ジーを考慮し、各事業本部への移行も検討していきます。

### 3つの成長シナリオ

- 事業ポートフォリオを活かしたシナジー創出(大型・複合開発)
- 2 グループ会社も一体となったバリューチェーンの強化 (請負・分譲に加え、管理・運営の収益拡大)
- 3 サプライチェーン改革による効率化(コスト低減)

大和ハウスエ
取締役会

大和ハウス工業 代表取締役社長

住宅事業本部	大和ハウスリフォーム	日本住宅	已流通	
	デザインアーク	大和ラン	ソテック	
集合住宅事業本部	大和リビングマネジメント	大和八八	うス賃貸リフォーム	
□ 流通店舗事業本部 □ 流通店舗事業本部	大和ハウスリアルティマネジメント**1	スポーツ	ソクラブNAS	
- ////////////////////////////////////	ロイヤルホームセンター	大和ハウ	ウスパーキング	
□ ■ 建築事業本部	ダイワロジテック			
三 连桨争耒本部	大和ハウスプロパティマネ	ジメント		
マンション事業本部	3			
環境エネルギー	エネサーブ			
事業本部	大和エネルギー			
	フジタ	大和リー	-ス	
	大和ライフネクスト	コスモス	スイニシア	
関連事業本部*2	大和物流	大和物流 大和リン		
	大阪マルビル	西脇ロイ	イヤルホテル	
	ダイワロイヤルゴルフ	大和ハウ	ウスライフサポート	
<b>次月主<del>※</del>土</b> 郊	Stanley-Martin Holdings,	LLC		
一 海外事業本部	Rawson Group Pty Ltd.		• • •	
情報システム部	メディアテック			
グ 総合宣伝部	伸和エージェンシー			
ル生産部	大和コアファクトリー	大和コアファクトリー		
<b>プ</b>	大和ハウスフィナンシャル			
□本 社 財務部 機 能	大和ハウスインシュアラン			
一位 財務部 機	大和ハウス不動産投資顧問	大和ハウス不動産投資顧問		
形 部	大和ハウスアセットマネジ			
門 事業開発部	若松梱包運輸倉庫			
経営企画部	ロイヤルゲート			
※1 2021年10日	ロニナ和桂却サービフ井ナ会を	+ レダイロ	ロイヤル性子合社の	

- ※1 2021年10月1日に大和情報サービス株式会社とダイワロイヤル株式会社の 経営統合により発足
- ※2 関連事業本部長は経営管理本部長が担っています。

### 住宅事業本部



住宅事業本部長 リブネス事業担当

取締役 常務執行役員 大友 浩嗣

### 3つの注力テーマ

生きる場所の基盤になる 「新商品」開発の加速

グループ共同による 「ライフスタイル提案の場」の 引渡し以降の 「生活提案サービス」を提供する リブネス事業強化

### バリューチェーン

営業	設計	施工	アフターケア	リフォーム	売却·建替
大和ハウス工業				大和ハウス リフォーム	日本住宅流通
	デザインアーク (インテリア)	大和ランテック (外構工事)			

# 家を、帰る場所から 「生きる」場所へ

創業当初からのコア事業を担う住宅 事業では、これまでも生活スタイルの 変化とともに、家づくりを進化させて きました。新型コロナウイルス感染症 の流行によって、人々の暮らし方や働 き方は激変し、家族と楽しく過ごす時 間、仕事に集中できる環境、家の中でも 気分転換ができる空間など、住まい選 びもニューノーマルへの対応が求めら れるようになりました。変化をチャンス と捉え、建物だけではなく、住まい手に フォーカスして、人の・暮らしの・世の 中の困りごとの先の先を見据えて、価 値をお届けします。

# 集合住宅事業本部



集合住宅事業 本部長

取締役 常務執行役員 出倉 和人

### 3つの注力テーマ

大和リビングの管理戸数拡大

建物のメンテナンスサイクルの 長期化

バリューアップ提案による D-roomの物件価値向上

### 1011- T- N.

ハウューチェーン					
営業設計	施工	管理	リフォーム	売却·建替	
大和ハウス工業		大和リビング マネジメント	大和ハウス 賃貸リフォーム	大和ハウス工業	

# 新たな価値共創を 生み出す

集合住宅事業では、「誰もが住みやす い、新しい暮らし」を提供し続けること を目指しています。オーナーさまの賃貸 住宅経営において、建築いただいた建 物を長期にわたり安定資産として維持し、 価値を向上させるため、グループ間の 連携を強化しています。賃貸住宅の建築、 ご入居者さま・物件管理、建物点検・維 持修繕を一気通貫で対応できるサポー ト体制を整え、ご入居者さまやオーナー さまから選ばれる住まいを提供します。

### 流通店舗事業本部



流通店舗事業 本部長

取締役 常務執行役員 下西 佳典

### 3つの注力テーマ

次世代型ロードサイド 専門店強化

特化型ディスカウント専門店を 集積したパワーセンターの 展開強化

食品スーパーを 核テナントとしたNSC(ネイバー フッドショッピングセンター)の 開発拡大

# バリューチェーン

用地開発	建設	リーシング	管理·運営	リフォーム	売却
			大和ハウスリアルティ マネジメント		
	大和ハウス工業		スポーツクラブNAS	大和ハウスリアルティ	大和ハウス工業
			ロイヤルホームセンター	マネジメント	
大和ハウスパーキング		大和ハウスリアルティ マネジメント	大和ハウスパーキング		

# 「ゼロイチ」を続ける

1976年から始めた流通店舗事業は、 常に社会の変化を捉えニーズをカタチ にしてきた、まさに「ゼロからイチ」を創 り出してきた事業です。地域の生活や 産業を営むうえで不可欠なインフラを 創り出すことを目指し、グループ内の連 携を今まで以上に強化しています。前 例にとらわれない発想と、長期的視野 に立ち、「暮らしに何が必要か?」「どう いう提案でお客さまの心を満たすのか?」 を追求し、国内に留まらず、海外にも視 野を広げて取り組みを進めていきます。

Daiwa House Group Integrated Report 2021



### 建築事業本部長

# 取締役

常務執行役員

浦川 竜哉

# 社会が直面する 課題に正対

建築事業においては、大きく4つの 課題を最優先事項としています。1点目 は「南海トラフ地震から生命と財産を守 る」とし、当社が手がける開発・建設に おいては免震装置を積極的に採用して います。2点目は開発・建設を通じて「産 業構造を転換する」とし、物流施設を地 方創生の核にする取り組みを進めてい ます。次に「食料自給率低下」への備え としてアジア6ヵ国のグローバルコール ドサプライチェーンを構築しています。 そして「世界のDX化」に向け、データセ ンター開発を含め、DX化に対応できる 基盤作りに積極的に取り組んでいます。

3つの注力テーマ

事業用地の開発を通じた 物流ニーズの創出

今後の成長領域として データセンター開発の 積極展開

官民連携による 次世代型卸売市場の実現

### バリューチェーン

用地開発	付加価値提案	建設	リーシング	管理·運営	不動産証券化
	大和ハウ	カス工業		大和ハウス プロパティマネジメント	大和ハウスリート
	71. / 0. 77				大和ハウス グローバルリート
	フレームワークス			アッカ・ インターナショナル	大和ハウスロジスティクス コアファンド

注 大和ハウスリート、大和ハウスグローバルリート、大和ハウスロジスティクスコアファンドは、建築事業本部の

用地開発	付加価値提案	建設	リーシング	管理·連宮	个動産証券化
	大和ハワ	ウス工業		大和ハウス プロパティマネジメント	大和ハウスリート
				7 1/1/17 (4/2//2)	大和ハウス グローバルリート
	フレームワークス			アッカ・ インターナショナル	大和ハウスロジスティクス
				100 0000	コアファンド

傘下には入っていませんが、バリューチェーン上の重要な位置づけであるため記載しています。

# マンション事業本部



# 本部長

執行役員 富樫 紀夫

### 3つの注力テーマ

キャッシュフロー創出に向けた 販売手法の改革

大規模再開発・ マンション建替えなどの 複合開発強化

不動産開発ニーズに対応する リブネス事業領域の強化

### バリューチェーン

用地選定·取得 企画·設計	施工	販売	管理·運営	買取再販
大和ハウス工業		大和ハウス工業		大和ハウス工業

注 マンション事業本部の傘下に入っていない関連事業本部のコスモスイニシアおよび大和ライフネクストとは連携 しており、バリューチェーンの強化・拡大を図っています。

# 変化はチャンス、 逆境を順境に

マンション事業では、グループのデ ベロップ部門として、まちづくりの一 翼を担う再開発や複合開発も含め、長 期的かつ複眼的な視点でマンション用 地を捉え、SDGsや環境にも配慮し、不 動産価値の最大化を実現する開発・企 画・提案を行っています。生活利便性 が高いマンション開発に加え、働き方 や住まい方に対する価値観の変化にも 対応できる暮らしを提案します。また エリアマネジメントに通ずる循環型事 業としてマンションの建て替えや、マ ンションに限らず最適用途での不動産 開発なども手がけ、社会が抱える多く の課題に対し事業を通じて解決してい きます。

# 環境エネルギー 事業本部



## 環境エネルギー 事業本部長

常務執行役員 永瀬 俊哉

### 3つの注力テーマ

脱FITに向けた 取り組み強化(EPC)

事業リスクを回避した 体制の構築(PPS)

安定ストックとして案件の 積極拡大(IPP)

ハリューチェーン			
EPC(再エネ発電所の設計・施工)	保守·点検		
	エネサーブ		
大和エネルギー	エネサーブ	大和エネルギー	44.5

# 再生可能エネルギーの 普及に貢献

日本は2050年までに温室効果ガス の排出量を実質ゼロにすると宣言し、 米国は地球温暖化対策の世界的な枠 組みである「パリ協定」に復帰しました。 世界的に脱炭素への動きが加速してお り、環境エネルギー事業の重要性は年々 高まっています。

環境エネルギー事業では「EPC(再生 可能エネルギー発電所の設計・施工)」 「PPS(電力小売事業)」「IPP(発電事業)」 を通じて、お客さまのエネルギーの課 題を解決するソリューション事業を展 開しています。そして、再生可能エネル ギーの普及に貢献し、脱炭素に寄与し ていきます。

# 海外事業本部



# 海外事業本部長

取締役 常務執行役員 一木 伸也

### 注力テーマ

米州・ASEANを成長分野と位置づけながら、 エリアごとに重点的に取り組むセグメントを設定し事業を拡大

### エリア

米州 (米国)

大洋州 (豪州)

ASEAN. 南アジア

東アジア (中国・台湾)

欧州

# 日本のクオリティを 世界に展開

当社グループの高品質な建築・サー ビスを世界の人々にお届けするという 想いを胸に、1960年代から開始した海 外事業はこれまで培ってきた経営資源 を最大限に活かした事業展開により、 24の国・地域を中心に事業を拡大して います。

さらなる事業拡大に向け、世界を東 アジア、ASEAN・南アジア、大洋州、米 州、欧州の5つに分け、エリア別で管理 体制を整備し、グループの強みを活か しながら、持続的な事業投資を継続し ています。選択と集中、エリアマネジメ ント、ガバナンス体制を一層強化し、収 益化を図っていきます。